

京北

周山 弓削 山国

栗尾味からの眺め

京都市右京区京北地域は林業の郷で、平安時代から平安宮・京の用材を供給してきました。平安時代以前から近世に至る史跡・遺跡の多い地域で、天然記念物にも恵まれています。また、南北朝時代の光厳(こうごん)天皇の出家隠棲の地としても知られ、戦国時代においては明智光秀の統治に由来する伝承も残ります。明治維新の山国隊は平安京の遷都日である10月22日に、毎年京都で行われる時代祭の先頭を歩くことでも知られています。京都市の北山にある、のどかな里山の歴史を散策して、自転車や徒歩で周遊するコースをご紹介します。



常照皇寺石灯籠



光厳天皇・後花園天皇山国陵



開山堂(怡雲庵)



方丈と御車返しの間



九重桜



方丈北側庭園



方丈内部

常照皇寺

光厳(こうごん)天皇は元弘の乱(1331~1333)の時に即位し、南北朝時代の北朝の初代天皇となりましたが、後醍醐天皇により廃され、南朝に幽閉されます。その後、出家して山国荘を隠棲の地とし、当時あった成就庵を常照寺(現在の常照皇寺)と改めて1362年に開山しました。境内には方丈や開山堂(怡雲庵-いうんあん-)が並び、国指定天然記念物の「九重桜」や「御車返しの間」「左近の桜」で有名です。裏山には光厳天皇と後花園天皇の「山国陵」があります。

山国護国神社

戊辰戦争(1868~1869)の時に山国郷の名主・農民等によって組織され、官軍に参加した「山国隊」の戦病没者を祀るため、1869年に設けられた招魂社が始まりです。

山国神社

山国郷が平安京遷都の木材供給地として定められた、奈良時代の末期から平安時代初期頃に祭祀されたと考えられる、古からの延喜式内社です。祭神は大己貴命(おおなむちのみこと)・大國主命を祀っています。

いしんきんのうやまぐにたい
維新勤皇山国隊

京北の山国の郷では、幕末に、農民による「山国隊」が組織され、官軍側の鳥取藩に加わって戊辰戦争(1868~1869)を戦いました。戦中に「山国隊」が習得した軍楽は、明治維新後もこの地域に継承され、現在は京都の三大祭の一つである時代祭の先頭を行く「維新勤皇山国隊」や、地元で毎年10月に行われる山国神社祭礼の「還幸祭」の行進で、それを唄うことができます。



(写真提供 山国隊軍楽保存会)

八幡宮社

応神(おうじん)天皇を中心に祀る地元の郷社で、本殿と境内社待童社本殿は府指定文化財。境内地は古墳と見られる墳墓が多く残る府指定文化財環境保全地区です。参道上の京北第三小学校境内に立つ樹高32mの古スギは市指定天然記念物です。

中道寺

八幡宮社に付属して建てられた神宮寺でしたが、現在は真言宗の寺院となっています。重要文化財の木造増長天立像のほか、市指定文化財の仏像三体も安置しています。

福德寺

711年に行基が開創し、聖武天皇の勅願で薬師七重塔が建立された弓削寺が始まりです。境内には弓削道鏡の供養塔があり、市指定天然記念物の「かすみ桜」があります。

永林寺

寺伝では1456年に建立という曹洞宗の禅寺です。眺めの良い山腹に建ち、参道の石段から見上げる鐘楼門が美しいお寺です。北条三十三霊場の第二十五番札所です。

慈眼寺

明智光秀ゆかりの周山東麓にあるお寺です。明智光秀の木坐像と位牌が釈迦堂に安置されています。境内にある大イチョウは市指定天然記念物です。
※拝観は予約が必要です。

明智光秀と周山城

桃山時代、織田信長に丹波平定を命じられた明智光秀は、宇津氏を討ち破り丹波を平定します。善政を敷いたとされる中国・周の武王に自らをなぞらえ、この地域を周山と名付けたとされています。周山城は丹波平定後に光秀が築いた山城で、完成前に本能寺の変・山崎の戦い(1582)が起こり未完成のまま破却されました。今も石垣や虎口、天守台、井戸、堀切などの跡が良好に残り、数百メートル四方に及ぶ大規模な城跡を見ることができます。



周山



登山口入口



石垣跡



慈眼寺の明智光秀木坐像



稲荷大明神の鳥居



行者さん



岩神さん



- A 京都市京北森林公園**
きのこ館や森林浴歩道、野外炉や丸太アスレチックなどが整備され、森林浴やバーベキュー、きのこ狩り体験などが楽しめます。(月曜休館)
☎ 075-853-0200
- B 京都府立ゼミナールハウス**
京都府設立の宿泊・生涯学習・研修施設です。観光や研修、各種イベントなどに活用できる施設です。レンタサイクルが利用できます(3台)。
☎ 075-854-0216
- C ウッディー京北**
京都市初の道の駅として開設。地域振興と交流の拠点施設の役割も担っています。ここでもレンタサイクルが利用できます(3台)。
☎ 075-852-1700
- D 右京区京北合同庁舎(京北出張所)**
舎内3階に「京北さんさと資料室」があり、京北地域の歴史や文化資料を展示・開示しています。また2階には図書室があります。
☎ 075-852-0300

稲荷大明神・岩神

岩山のふもとに鎮座されており、地元では「行者さん」と呼ばれる石仏や、「岩神さん」と呼ばれる巨岩が近隣にあることから、古より豊穡等を祈願する磐座(いわくら)信仰があった地だと考えられます。

京北 周山弓削 山国



～文化財と遺跡を歩く～ 京都歴史散策マップ



発行 京都市・(財)京都市埋蔵文化財研究所

京北周山弓削山国周辺の発掘調査

2005年4月1日に北桑田郡京北町は右京区に編入されました。京北は、京都の北西部の山間地で、若狭と山城を結ぶ交通の要衝として古代から独自の文化を育んできました。京北内には弓削川、上桂川が流れ、周山付近で合流し桂川となります。遺跡はこの両川流域と合流域に点在し、これまでに101箇所の遺跡が確認されています。縄文時代の遺跡は弓削川沿いに5箇所の遺物散布地があります。弥生時代は上中大田遺跡の集落跡ほか6箇所あり、弓削川左岸の丘陵からは南丹波地域で唯一の銅鐸が発見されています。古墳時代になると遺跡が増加し、愛宕山古墳をはじめ、180基以上の古墳が確認され、古墳時代後期の横穴式石室を持つ群集墳が数多くみられます。飛鳥時代から奈良時代の遺跡には、周山廃寺と南西の丘陵部に周山瓦窯跡群があります。平安時代以降は、山国や弓削は禁裏御料地として皇室との関係が深いところで、光厳天皇が建立した常照皇寺には天皇陵や経塚があります。また、国指定天然記念物の九重桜もあります。中世の上中城、周山城などの城郭跡も保存・整備されています。

桂川 弓削川合流域の遺跡

南東には縄文時代から中世の東山遺跡があります。1999年の発掘調査で、縄文時代の石器や古墳時代の竪穴住居跡が見つっています。また、合流点を南方眼下に見下ろす高台には周山古墳群があります。11基の古墳が確認されており、1974年に発掘調査が行われ、1号墳は古墳時代中期の方墳であることが明らかになりました。飛鳥時代から奈良時代の遺跡には1947年に発掘調査された周山廃寺があります。周山中学校敷地に塔・堂・門跡が府指定史跡として保存整備されています。また南西の対岸には当廃寺の瓦を焼いた周山瓦窯跡群が、1978年から1981年に発掘調査され、府指定史跡となり保存されています。周山廃寺の北東にある祇園谷遺跡は、1992年の発掘調査で古墳時代の竪穴住居跡や奈良時代の建物跡が見つかりました。また中世の遺跡には市内最大の山城である周山城跡が知られています。

11 東山遺跡



調査地遠景
古墳時代の竪穴住居跡



出土した石器 (縄文時代)
出土した土器 (古墳時代)
(写真提供 (公財)京都市埋蔵文化財調査研究センター)

上桂川流域の遺跡

京北塔町の山麓に位置する愛宕山古墳は、1982年に発掘調査が実施され5世紀前半に造られた方墳であることが明らかになりました。埋葬部から出土した須恵器や土師器の土器類と仿製鏡(ほうせいきょう) 三面・玉類・鉄製品などの副葬品から、京北地域の首長墓とみられます。出土した遺物はいずれも府指定有形文化財になっています。また、塔遺跡は弥生時代から中世までの集落跡です。1994年の発掘調査では竪穴住居跡や掘立柱建物跡などがみつっています。古墳時代後期の塔村古墳群は塔町から下弓削に抜ける峠越えの道脇にあり、1号墳は石室が開いています。

1 愛宕山古墳



古墳上に設けられた方形の埋葬施設



出土した仿製鏡三面(府指定有形文化財)

12 祇園谷遺跡



調査地の航空写真
竪穴住居跡

(写真提供 (公財)京都市埋蔵文化財調査研究センター)

13 周山古墳群



現状保存された古墳

14 周山瓦窯跡群



現状保存された瓦窯跡群と石碑



出土した鉄製品(府指定有形文化財)

(写真掲載 『愛宕山古墳発掘調査概報』京北町教育委員会発行)

2 塔遺跡



調査地の遠景
(写真提供 (公財)京都市埋蔵文化財調査研究センター)

3 塔村古墳群



峠沿いにある古墳
開口している石室

15 周山廃寺



周山中学校敷地に保存整備された礎石跡

16 周山城跡



周山城跡の遠景
山頂平坦地の本丸跡
本丸の西側にある石垣跡
本丸の西側にある井戸跡
西側の尾根筋にある二ノ丸跡

弓削川流域の遺跡

流域右岸の上中町の平野部に位置する上中太田遺跡は1995年に調査され、弥生時代から古墳時代の住居跡や奈良時代の建物跡が見つかり、弥生時代から中世の集落跡であることが明らかになりました。また、山麓には古墳群が多く見られ、1998年に調査された鳥谷古墳群をはじめ、その南には矢谷古墳群と矢谷奥古墳群がみられます。また、地元の共同墓地内に径10m～20m規模の円墳5基が残る大年古墳群もあります。上流には1993年～1995年にかけて調査された平安時代末期を中心に使用されていた上中城跡が市指定史跡になり、史跡公園として整備開放されています。

4 上中太田遺跡



調査地の航空写真
(写真提供 (公財)京都市埋蔵文化財調査研究センター)

5 鳥谷古墳群



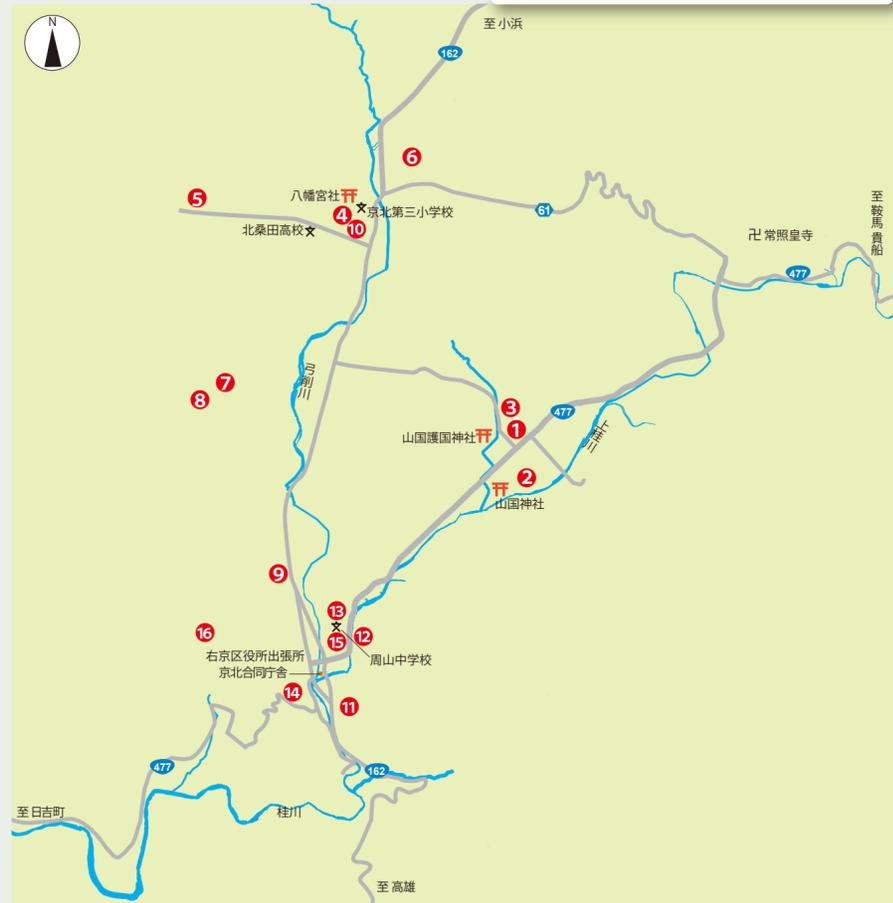
古墳墳丘と石室
石室内から出土した土器
(写真提供 (公財)京都市埋蔵文化財調査研究センター)

◇古墳群の現状(6～9)



6 岩ヶ鼻古墳群
7 矢谷古墳群
8 矢谷奥古墳群
9 大年古墳群
10 上中城跡(市指定史跡)
発掘調査風景
(写真提供 (公財)京都市埋蔵文化財調査研究センター)
上中城跡の現状

京北周山弓削山国に関する発掘調査地の位置図



資料提供：財団法人京都市埋蔵文化財研究所